

# YOUTUBE からお越しいただいた あなたへのプレゼント！

## カードアクロスの手順

### 効果

1組のカードから適当な枚数を、観客に取り上げてもらい枚数を数えます。  
その取り上げたカードを観客にしっかりと持っていてもらいます。

その後で適当な1枚を決めてもらい、その数字分の枚数を観客の持っている  
所へ、見えない飛行をさせると言います。

マジシャンはカードを移動させるような動きをしてから、観客の持っている  
パケットの枚数を数えると、たしかに先程選んだカードの枚数分増えています。

### 準備

特にありません、普通のカードを一組み

### 手順

1：まずは観客によく混ぜてもらいます。受け取ったら、移動させたい枚数  
と同じ数字のカードをボトムにコントロールしておきます。これは堂々と表  
を見せてから、ターゲットを見つけカットすればいいでしょう。あまり大き  
い数字にしないでおきましょう。何をするのかまだわからないので、この動  
きを気にする必要はありません。今回は2だとします。

2：デッキを裏向きにして左手のディーリングポジションに持ち、相手の方へ伸ばして「10枚程度を持ち上げていただけますか？」と言います。

枚数はアバウトで問題ありません。観客の取り上げたカードを右手で受け取り重さを感じるような動きをしつつ「実際何枚だと思います？」と言いながら表向きにしてデッキの上に重ねます。

3：相手が枚数を言ったら、ひっくり返して表向きになっているトップの方を広げカードを示しますが、表向きのカード全部とその下にある裏向きのカード2枚までは広げます。この時にはできるだけカジュアルに広げるようにします。カードを見て「いいカンしているかもしれませんね」と言いつつ、広げたカードを閉じますが、表向きのカード+裏向き2枚を同時にそろえて右手で取り上げるようにします。

4：右手のビドルグリップで取り上げ、左手にある残りのカードはテーブルに置きます。ここからカードを数えますが、次のようにします。右手のカードを左手に渡し、左手の親指でトップのカードを右に押し出します。右手にとって「1枚」と言いながら裏向きに返して、左手パケットの一番下に戻します。押し出して、数え、ひっくり返して、ボトムに入れる、という流れを行なっていきませんが、トップに裏向きのカードが来るまで行います。

観客から見ると、表向きのカードを全て数えただけに見えますが、実際には今現在トップの2枚は密かに加えたカードです。2枚のカードを加えつつ、それを数えることなく、向きを揃えたことになります。

ここはポール・ハリスの「ラスベガス・リーパー」で使われている巧妙なアイデアです。観客に数えさせない分フェアさが少ないかもしれませんが、その分安全になります。ただし、相手が自分でカットした枚数なので、自由に行なった感じはありますし、そこをうまくコントロールすると、自分で数えたかのように記憶がつながる可能性が大きいです。（もちろんそこを狙っていきます。）

4：数えたカードを相手に渡して、しっかりと持ってもらいます。そしてテーブルに置いたデッキを取り上げて、ボトムにセットしたカードをフォースします。もしセット忘れた際でも、このタイミングでカードを探すこともできますが、既にマジックが始まってしまっているのです、ここでセットすると相手の記憶に残ります。

自分の方法はオーバーハンドシャッフルからジョグを作り、リフルフォースを行うと思いますが、ここは各自の好きな方法でフォースしてください。一番簡単な方法はヒンズーシャッフル・フォースだと思います。

5：2のカードを示して「この数字分の枚数を移動させます」と言います。後はテントバニッシュやラブバニッシュなど、カードを移動させた、と想像できるようなことを行なってください。デッキを観客に向かってはじくだけでもいいでしょう。

6：相手に「何か変わった感じは？」と訪ねます。もちろんイエと答えるでしょう。相手に質問し答えさせることで、記憶をコントロールします。

「最初によく混ぜて、適当な枚数をとってもらいましたね？（相手が首を縦にふったり Yes というはず）最初に数えた枚数は何枚でしたっけ？（相手が枚数を言います、言わせることが非常に重要です）さらに2枚が移動したとすると何枚ですか？（相手が答えます）では数えてみてください。」

相手に数えてもらいます。すると2枚増えていることになります。

ファーザー・モア

通常のカードアクロスで、2回カードが増える場合もあります。もちろんそこまで行ってもいいでしょう。パームが必要になると思いますが、完璧なミスディレクションは効いているはずです。

サインカードを移動させることも出来るかもしれません。その場合には、マーチンルイスの手順を参考にしてみてください。古いビデオに入っています。メイキングマジックなどではありません。

セリフのタイミングと言葉のチョイスで、相手の記憶はかなりコントロール可能です。ポイントは自分が何をしたかではなく、相手の頭に何が残ったか、です。そこに焦点を集めるようにしましょう。

ジョン・ケアリーのカードアクロスを見て、ポール・ハリスのラスベガス・リーパーを思い出したのですが、この方法はあまりにもシンプルなので、誰かが発表している可能性があります。ただ、僕の記憶の中ではこの手順を見た覚えはありません。もし既に発表されているようでしたら小林に原案者を教えていただけるとありがたいです。

マジックを演じ慣れている方ですと「単純すぎないか？」と思うかもしれませんが、一般の方を相手にすることをベースに考えている手順です。そして今まで演じてみて、十分に反応のあるものですので、自信を持って演じてみて下さい。

説得力もあり、簡単な方法なので、実用的だと思います。ぜひ演じてみてください。

もし動画が欲しい場合には・・・レストランマジック研究所の方へメールでも下さい。